



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月12日

上場会社名 株式会社メイテック 上場取引所 東
 コード番号 9744 URL <http://www.meitec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西本 甲介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 上村 正人

経営情報部
 (TEL)03(5413)0131

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日~平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	29,357	12.0	662	-	2,087	-	1,615	-
22年3月期第2四半期	26,203	36.7	3,248	-	850	-	1,214	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	48.74	-
22年3月期第2四半期	36.65	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	50,811	35,050	68.5	1,050.52
22年3月期	47,625	33,443	69.8	1,002.58

(参考)自己資本 23年3月期第2四半期 34,824百万円 22年3月期 33,235百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	-	24.50	-	0.00	24.50
23年3月期	-	0.00	-	-	-
23年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 有

現時点での平成23年3月期の期末配当予想は未定であります。

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(%表示は、前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,500	10.6	1,600	-	4,100	-	2,900	-	87.48

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成22年11月12日)公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他（詳細は、【添付資料】6ページ「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無
新規 - 社（ ） 、 除外 - 社（ ）
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
会計基準等の改正に伴う変更：有
以外の変更：無
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	35,100,000株	22年3月期	35,100,000株
期末自己株式数	23年3月期2Q	1,949,850株	22年3月期	1,949,655株
期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	33,150,267株	22年3月期2Q	33,150,485株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成23年3月期の期末配当予想は現時点では「未定」ですが、具体的な期末配当予想については通期業績見通しの確度に基づいて、平成23年3月下旬までにお知らせします。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. その他の情報	6
(1) 重要な子会社の異動の概要	6
(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要	6
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4. 参考資料	13
(1) (前年度末比較) 四半期連結貸借対照表	13
(2) (前年同期比較) 四半期連結損益計算書	14
(3) (要約) 四半期個別貸借対照表	15
(4) (要約) 四半期個別損益計算書	17
(5) 主要経営指標	18
(6) グループ各社単体の実績 (平成23年3月期 第2四半期連結累計期間)	18
(7) 契約実績推移 (メイテック単体)	18
(8) 社員還元見込額の追加説明	19

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

連結の経営成績

〔表1〕当四半期連結累計期間における連結業績の概要

(百万円未満切捨て)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	〔6ヶ月間累計〕	
			増減額	増減率
売上高	26,203	29,357	+3,153	+12.0%
売上原価()	23,478	23,628	+149	+0.6%
販管費()	5,973	5,065	907	15.2%
営業利益	3,248	662	+3,911	
営業外損益	2,397	1,424	973	40.6%
うち助成金収入	2,407	1,401	1,005	41.8%
経常利益	850	2,087	+2,938	
税金等調整前純利益	850	2,302	+3,152	
四半期純利益	1,214	1,615	+2,830	

当四半期連結累計期間(6ヶ月間:平成22年4月1日~平成22年9月30日)においては、当社の主要顧客である大手製造業の業績回復が堅調に進んでおり、技術開発投資の再開が緩やかではあります但し拡大しています。掛かる状況下、当社グループの中核事業である技術者派遣事業においては、既存顧客を中心に積極的な営業展開を行い、稼働率の改善が継続しました。これらを主因に、当四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比31億53百万円増収の29億57百万円となりました。連結売上原価は、稼働率の改善による労務費の増加等を主因に前年同期比1億49百万円増加の23億628百万円、販管費は効率化の徹底等により前年同期比9億7百万円減少の5億65百万円となりました。

この結果、連結営業利益は、前年同期比39億11百万円増益の6億62百万円となり、前年同期の赤字を脱却して黒字に転換しました。平成22年5月13日公表の平成22年3月期決算短信でお知らせした通り、公表予想を上回る営業利益は社員還元を優先する計画に鑑み、連結で24億53百万円の社員還元見込上限額を設定し、社員還元見込額を当四半期連結累計期間の上限額である12億25百万円まで計上しました。当社単体においても社員還元見込額を当四半期連結累計期間の上限額である10億73百万円まで計上し、営業利益は2億39百万円となりました。

前年度に引き続き、雇用調整助成金収入(14億1百万円)を営業外収益に計上し、連結経常利益は前年同期比29億38百万円増益の20億87百万円、連結四半期純利益は前年同期比28億30百万円増益の16億15百万円となりました。

事業セグメント別の経営成績

〔表2〕当四半期連結累計期間における事業セグメント別業績の概要

(百万円未満切捨て)	グループ					
	連結 〔6ヶ月間累計〕	派遣事業	エンジニア ソリューション事業	グローバル 事業	キャリア サポート事業	連結消去
売上高	29,357	27,785	1,544	43	219	235
構成比	100%	94.6%	5.3%	0.1%	0.7%	0.8%
前年同期比	+3,153	+3,175	+325	300	131	+85
上記増減率	+12.0%	+12.9%	+26.7%	87.4%	37.4%	
営業利益	662	525	113	30	52	2
構成比	100%	79.2%	17.0%	4.6%	7.9%	0.4%
前年同期比	+3,911	+3,427	+100	+352	+36	6
上記増減率			+775.2%		+240.7%	

ご参考: グループ各社別の業績は、18ページに掲載しています

(ア) 派遣事業

連結売上高の9割超を占める派遣事業、特に中核事業の技術者派遣事業については、受注環境が緩やかに好転する中で、既存顧客を中心に積極的な営業展開を行い、契約終了数を上回る契約開始数の獲得をした結果、稼働率の改善が継続しました。

これら稼働率の改善を主因として、派遣事業における当四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比31億75百万円増収の277億85百万円となりました。

また、売上高の増加に伴い、営業利益は前年同期比34億27百万円増益の5億25百万円となり、前年同期の赤字を脱却して黒字に転換しました。

〔表3〕メイテックグループの技術者派遣事業の状況

		平成22年3月期 第2四半期累計期間 (6ヵ月)/会計期間末	平成23年3月期 第2四半期累計期間 (6ヵ月)/会計期間末
MT ^{*1} + MF ^{*2} + CAE ^{*3} + MGS ^{*4}	期末技術者数 ^{1, 2}	7,682人	7,058人
MT ^{*1} + MF ^{*2}	期末技術者数 ^{1, 2}	7,302人	6,971人
	稼働率(全体)	69.3%	82.1%
	稼働率(新入社員等 ^{3, 4} を除く)	74.5%	84.3%
MT ^{*1}	期末技術者数 ^{1, 2}	5,878人	5,746人
	期末社内派遣従事者数(外数) ²	249人	144人
	稼働率(全体)	70.2%	80.7%
	稼働率(新入社員等 ³ を除く)	75.0%	81.4%
MF ^{*2}	期末技術者数	1,424人	1,225人
	稼働率(全体)	65.6%	88.3%
	稼働率(新入社員等 ⁴ を除く)	72.7%	99.1%
CAE ^{*3}	期末技術者数	84人	87人
MGS ^{*4}	期末技術者数 ¹	296人	-

*1: (株)メイテック、*2: (株)メイテックフィルダーズ、*3: (株)メイテック CAE *4: (株)メイテックグローバルソリューションズ

MT^{*1}、MF^{*2}の四半期稼働率(全体)推移

	H20年 3月期	H21年3月期				H22年3月期				H23年 3月期	
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
MT ^{*1}	98.4%	94.2%	97.3%	96.7%	91.7%	71.6%	68.7%	70.4%	76.9%	78.1%	83.4%
MF ^{*2}	97.5%	91.6%	96.2%	95.4%	88.8%	66.0%	65.1%	70.5%	78.5%	84.7%	92.0%

〔表3〕の注記

- 平成22年4月1日付にて(株)メイテックグローバルソリューションズの技術者を(株)メイテックに統合しています
- (株)メイテックの技術者数は、未稼働技術者への社内研修講師等の社内技術業務に従事している社内派遣従事者を、間接人員として控除しています
- 入社後未配属の技術者(MGSから統合した技術者を含む)を控除しています
- 入社後未配属の技術者と一時帰休者を控除しています

ご参考: 月次の稼働率実績等は、次の URL からご覧頂けます (当社 HP) <http://www.meitec.co.jp/ir/financial/index.htm>

(イ) エンジニアリングソリューション事業

エンジニアリングソリューション事業は、解析関連技術、試作・金型製作・成型関連の技術サービス及びプリント基板事業等の技術支援事業を行っています。

エンジニアリングソリューション事業における当四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比 3 億 25 百万円増収の 15 億 44 百万円、営業利益は前年同期比 1 億円増益の 1 億 13 百万円となりました。

株式会社メイテック CAE は、前年同期比で増収となり営業利益も堅調に推移しております。また、アポロ技研グループは、市況の回復に加えて営業強化の効果等もあり、前年同期比で増収、前年同期の赤字を脱却し黒字化しています。

(ウ) グローバル事業

グローバル事業は、中国で教育事業及び人材紹介事業を行っています。

グローバル事業における当四半期連結累計期間の売上高は、株式会社メイテックグローバルソリューションズが当セグメントからエンジニアリングソリューション事業へ移動した事を主因に、前年同期比 3 億円減収の 43 百万円となりました。ただし、メイテック大連、広州、北京の清算手続等の事業拠点縮小による効率化、並びにメイテック上海人材への営業力の集中も進めており、営業損失は前年同期比 3 億 52 百万円改善の 30 百万円へ大幅に縮小しました。

(エ) キャリアサポート事業

キャリアサポート事業は、エンジニアに特化した職業紹介事業及び情報ポータルサイト事業を行っています。

キャリアサポート事業における当四半期連結累計期間の売上高は、昨年 5 月の再就職支援事業の売却を主因に、前年同期比 1 億 31 百万円減収の 2 億 19 百万円となりましたが、営業利益は 52 百万円の黒字を計上しました。

株式会社メイテックネクストは、営業拠点を縮小しつつも、売上高は前年同期比で増収、さらにはコスト削減策が功を奏し、営業利益は黒字に転換しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産の状況

当四半期連結会計期間末(平成 22 年 9 月 30 日)の連結総資産は、前連結会計年度末(平成 22 年 3 月 31 日)比で 31 億 85 百万円増加し、508 億 11 百万円となりました。これは、現金及び預金の増加に伴い流動資産が前連結会計年度末比で 37 億 65 百万円の増加となった事等が主因です。

なお、現金及び預金の増加は、当四半期連結累計期間の経営成績結果の反映等が主因です。

負債の状況

当四半期連結会計期間末の連結負債は、前連結会計年度末比で 15 億 78 百万円増加し、157 億 60 百万円となりました。これは、流動負債が前連結会計年度末比で 10 億 96 百万円の増加となった事が主因です。

なお、流動負債の増加は、社員還元見込額等を賞与引当金として計上した事が主因です。

純資産の状況

当四半期連結会計期間末の連結純資産は、前連結会計年度末比で 16 億 7 百万円増加し、350 億 50 百万円となりました。これは、当四半期連結累計期間の経営成績の結果に伴う利益剰余金の増加が主因です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想

中核事業の技術者派遣事業における足元の稼働率動向等を勘案し、平成23年3月期の通期業績予想を下記の通り修正いたします。

下記の業績予想には、社員還元見込額として連結で24億53百万円、当社単体で21億49百万円を織込んでいます。なお、織込んだ社員還元見込額は年間の上限額です。社員還元見込額の詳細は19ページに記載しています。

また、多数のエンジニアを常用雇用する当社グループでは雇用調整助成金の受給を申請しておりますが、稼働率の改善状況を踏まえ、助成金収入見込額を連結で32億円から24億円に見直し、下記の業績予想に織込んでいます。

〔表4〕平成23年3月期の通期連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	55,000	100	3,400	1,900
今回発表予想(B)	59,500	1,600	4,100	2,900
増減額(B-A)	+4,500	+1,500	+700	+1,000

〔表5〕平成23年3月期の通期個別業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	43,000	0	2,800	1,600
今回発表予想(B)	46,500	1,000	3,300	1,900
増減額(B-A)	+3,500	+1,000	+500	+300

〔表6〕通期業績予想の前提条件

	(株)メイテック	(株)メイテックフィルダーズ
稼働率(全体)	83.2%	90.7%
上半期実績	80.7%	88.3%
下半期見込	85.8%	93.3%
稼働時間	8.80h/day	8.83h/day

配当予想

平成23年3月期の配当に関しては、平成22年5月13日に下記内容を公表しています。

〔平成22年5月13日公表の平成22年3月期決算短信：平成23年3月期配当予想の注記【要約】〕

平成23年3月期の配当予想は無配とさせていただきます。但し、平成23年3月期において、社員の賞与、賃金等の減額補填等へ優先充当した後においても営業利益が確保できる場合は、当該営業利益に即した期末配当を検討する予定です。

中間配当については、当初の予想通り無配としました。

上記業績予想に記載の通り、社員還元を考慮した後においても年間の連結営業利益は16億円を予想していることから、期末配当については営業利益に即して検討して参ります。

しかしながら、社員還元後の営業利益については未確定であることから、現段階での期末配当予想は「0円」から「未定」へ修正いたします。

なお、具体的な期末配当予想については通期業績見通しの確度に基づいて、平成23年3月下旬までにお知らせします。

当社といたしましては、株主のご期待に応えられるよう努めてまいりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

〔表7〕年間配当金の実績並びに予想

(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想		0円00銭		0円00銭	0円00銭
今回発表予想		実績 0円00銭		予想 未定	未定

ご注意：本資料に記載した業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、既に公表している有価証券報告書等で記載した「事業等のリスク」に係る事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計基準等の改正に伴う変更

〔資産除去債務に関する会計基準の適用〕

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ3,490千円減少し、税金等調整前四半期純利益は80,241千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による投資その他の資産のその他の変動額は76,751千円であります。

〔表示方法の変更〕

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

以外の変更

該当事項はありません

(追加情報)

賞与引当金

社員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

当社は従来、社員に対して支給する賞与の支給額が確定していたため未払費用として計上しておりました。

当第2四半期連結累計期間においては、社員に対して支給する賞与の支給額に未確定のもの(現在労使合意に基づき実施している社員の賞与、賃金等の減額部分に対する社員還元見込額)が含まれる事となったため、未確定部分を含めたその総額を賞与引当金として計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,548,614	14,732,005
受取手形及び売掛金	9,389,113	9,582,444
仕掛品	367,597	153,363
その他	2,909,623	3,980,151
貸倒引当金	4,720	3,595
流動資産合計	32,210,228	28,444,368
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,903,129	8,100,740
その他(純額)	4,083,469	3,968,508
有形固定資産合計	11,986,598	12,069,249
無形固定資産		
その他	2,331,486	2,704,131
無形固定資産合計	2,331,486	2,704,131
投資その他の資産		
その他	4,444,067	4,698,756
貸倒引当金	161,302	291,276
投資その他の資産合計	4,282,764	4,407,480
固定資産合計	18,600,849	19,180,861
資産合計	50,811,077	47,625,229
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	150,579	123,667
未払費用	1,797,665	4,864,630
未払法人税等	695,559	146,958
賞与引当金	3,538,916	-
その他	1,306,174	1,257,452
流動負債合計	7,488,895	6,392,708
固定負債		
退職給付引当金	8,093,211	7,739,553
その他	178,269	49,710
固定負債合計	8,271,480	7,789,263
負債合計	15,760,376	14,181,971

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,825,881	16,825,881
資本剰余金	14,451,367	14,451,416
利益剰余金	10,331,231	8,715,540
自己株式	5,891,513	5,891,264
株主資本合計	35,716,967	34,101,573
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,555	20,893
土地再評価差額金	883,049	883,049
為替換算調整勘定	7,432	3,706
評価・換算差額等合計	892,037	865,862
少数株主持分	225,771	207,546
純資産合計	35,050,701	33,443,257
負債純資産合計	50,811,077	47,625,229

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	26,203,450	29,357,173
売上原価	23,478,523	23,628,435
売上総利益	2,724,926	5,728,738
販売費及び一般管理費	5,973,381	5,065,899
営業利益又は営業損失()	3,248,454	662,838
営業外収益		
受取利息	6,307	5,196
受取配当金	2,801	2,563
賃貸収入	6,127	5,246
助成金収入	2,407,548	1,401,607
その他	33,850	52,987
営業外収益合計	2,456,635	1,467,602
営業外費用		
支払利息	3	-
コミットメントフィー	10,450	10,450
為替差損	24,295	17,095
貸倒引当金繰入額	-	9,620
その他	24,074	5,758
営業外費用合計	58,824	42,925
経常利益又は経常損失()	850,644	2,087,515
特別利益		
投資有価証券売却益	-	158,121
貸倒引当金戻入額	26,580	139,342
その他	-	457
特別利益合計	26,580	297,921
特別損失		
固定資産売却損	2	-
固定資産除却損	23,258	6,307
賃貸借契約解約損	2,260	140
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	76,751
その他	936	-
特別損失合計	26,457	83,199
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	850,521	2,302,238
法人税等	383,511	666,907
少数株主損益調整前四半期純利益	-	1,635,330
少数株主利益又は少数株主損失()	19,203	19,638
四半期純利益又は四半期純損失()	1,214,829	1,615,691

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	派遣事業 (千円)	エンジニア リングソ リューション 事業 (千円)	グローバル 事業 (千円)	キャリア サポート 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	11,975,278	563,659	124,242	77,533	12,740,713		12,740,713
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,993	108,848	35,502		164,345	(164,345)	
計	11,995,272	672,507	159,745	77,533	12,905,058	(164,345)	12,740,713
営業利益又は営業損失()	1,463,729	14,798	203,607	13,403	1,665,941	4,480	1,661,461

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	派遣事業 (千円)	エンジニア リングソ リューション 事業 (千円)	グローバル 事業 (千円)	キャリア サポート 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	24,565,160	1,008,184	279,666	350,439	26,203,450		26,203,450
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	44,983	211,076	64,278	254	320,592	(320,592)	
計	24,610,143	1,219,260	343,945	350,693	26,524,043	(320,592)	26,203,450
営業利益又は営業損失()	2,902,805	12,912	382,869	15,367	3,257,396	8,941	3,248,454

(注) 1 事業区分の方法

事業はその内容と市場の類似性を考慮して区分しております。

当社グループでは、派遣事業、エンジニアリングソリューション事業、グローバル事業、キャリアサポート事業の4つの事業に分類しております。

2 各区分の主な事業内容

派遣事業・・・ 技術者派遣事業を中心としたフルライン型派遣事業

エンジニアリングソリューション事業・・・

解析、プリント基板設計、金型試作等のサービスコンテンツ事業

グローバル事業・・・ 海外エンジニアの育成事業、人材供給事業

キャリアサポート事業・・・ 職業紹介事業

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)及び前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)及び前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高の合計が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、当社グループの中核事業である技術者派遣事業を中心として、その内容と市場の類似性を考慮して派遣事業、エンジニアリングソリューション事業、グローバル事業、キャリアサポート事業の4つを報告セグメントとしております。

派遣事業については、技術者派遣事業を中心としたフルライン型派遣事業を行っております。

エンジニアリングソリューション事業については、当社グループの主要顧客である製造業から附帯する事業(解析、プリント基板設計、金型試作等)を中心とした、サービスコンテンツ事業を行っております。

グローバル事業については、主に海外のエンジニアを対象とした人材育成事業と、当社グループの主要顧客である日本の製造業(海外拠点)への人材供給事業を行っております。

キャリアサポート事業については、職業紹介事業等の人材のキャリアを支援する事業を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	派遣事業	エンジニアリングソリューション事業	グローバル事業	キャリアサポート事業	
売上高					
外部顧客への売上高	27,760,242	1,334,718	43,293	218,919	29,357,173
セグメント間の内部売上高又は振替高	24,960	210,013		543	235,517
計	27,785,202	1,544,732	43,293	219,462	29,592,690
セグメント利益又は損失()	525,100	113,010	30,364	52,356	660,102

当第2四半期連結会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	派遣事業	エンジニアリングソリューション事業	グローバル事業	キャリアサポート事業	
売上高					
外部顧客への売上高	14,367,882	707,948	24,252	116,297	15,216,382
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,482	140,869		543	153,894
計	14,380,365	848,817	24,252	116,840	15,370,277
セグメント利益又は損失()	430,797	57,847	14,579	24,101	498,168

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	660,102
セグメント間取引消去	2,736
四半期連結損益計算書の営業利益	662,838

当第2四半期連結会計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	498,168
セグメント間取引消去	1,368
四半期連結損益計算書の営業利益	499,536

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 参考資料

(1) (前年度末比較) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円、%)

科 目	期 別	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)	増減	
	金 額			金 額	金 額
資産の部					
流動資産					
現金及び預金		19,548,614	14,732,005	4,816,609	32.7
受取手形及び売掛金		9,389,113	9,582,444	193,330	2.0
仕掛品		367,597	153,363	214,234	139.7
その他		2,909,623	3,980,151	1,070,528	26.9
貸倒引当金		4,720	3,595	1,124	31.3
流動資産合計		32,210,228	28,444,368	3,765,859	13.2
固定資産					
有形固定資産					
建物及び構築物(純額)		7,903,129	8,100,740	197,611	2.4
その他(純額)		4,083,469	3,968,508	114,960	2.9
有形固定資産合計		11,986,598	12,069,249	82,650	0.7
無形固定資産合計		2,331,486	2,704,131	372,645	13.8
投資その他の資産合計		4,282,764	4,407,480	124,715	2.8
固定資産合計		18,600,849	19,180,861	580,011	3.0
資産合計		50,811,077	47,625,229	3,185,848	6.7
負債の部					
流動負債					
支払手形及び買掛金		150,579	123,667	26,912	21.8
未払費用		1,797,665	4,864,630	3,066,964	63.0
未払法人税等		695,559	146,958	548,600	373.3
引当金		3,538,916	-	3,538,916	-
その他		1,306,174	1,257,452	48,722	3.9
流動負債合計		7,488,895	6,392,708	1,096,187	17.1
固定負債					
退職給付引当金		8,093,211	7,739,553	353,658	4.6
その他		178,269	49,710	128,558	258.6
固定負債合計		8,271,480	7,789,263	482,217	6.2
負債合計		15,760,376	14,181,971	1,578,404	11.1
純資産の部					
株主資本					
資本金		16,825,881	16,825,881	-	-
資本剰余金		14,451,367	14,451,416	48	0.0
利益剰余金		10,331,231	8,715,540	1,615,691	18.5
自己株式		5,891,513	5,891,264	248	0.0
株主資本合計		35,716,967	34,101,573	1,615,393	4.7
評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金		1,555	20,893	22,449	107.4
土地再評価差額金		883,049	883,049	-	-
為替換算調整勘定		7,432	3,706	3,726	100.5
評価・換算差額等合計		892,037	865,862	26,175	3.0
少数株主持分		225,771	207,546	18,225	8.8
純資産合計		35,050,701	33,443,257	1,607,443	4.8
負債純資産合計		50,811,077	47,625,229	3,185,848	6.7

(2)(前年同期比較)四半期連結損益計算書

(単位:千円、%)

科 目	期 別	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	増減	
		金 額	金 額	金 額	増 減 率
売上高		26,203,450	29,357,173	3,153,722	12.0
売上原価		23,478,523	23,628,435	149,911	0.6
売上総利益		2,724,926	5,728,738	3,003,811	110.2
販売費及び一般管理費		5,973,381	5,065,899	907,481	15.2
営業利益又は営業損失()		3,248,454	662,838	3,911,293	-
営業外収益		2,456,635	1,467,602	989,032	40.3
うち助成金収入		2,407,548	1,401,607	1,005,941	41.8
営業外費用		58,824	42,925	15,899	27.0
経常利益又は経常損失()		850,644	2,087,515	2,938,159	-
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失()		850,521	2,302,238	3,152,759	-
四半期純利益又は四半期純損失()		1,214,829	1,615,691	2,830,521	-

四半期個別財務諸表は法定開示におけるレビューの対象ではありません。

「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(3)(要約) 四半期個別貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,596,763	13,881,749
受取手形及び売掛金	7,492,638	7,664,339
仕掛品	251,562	47,812
その他	3,572,296	4,506,553
貸倒引当金	2,358	1,642
流動資産合計	29,910,901	26,098,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,889,222	8,088,211
その他(純額)	4,052,909	3,933,748
有形固定資産合計	11,942,131	12,021,959
無形固定資産	2,135,939	2,483,102
投資その他の資産		
その他	9,140,198	9,432,414
貸倒引当金	13,646	14,835
投資その他の資産合計	9,126,551	9,417,578
固定資産合計	23,204,622	23,922,640
資産合計	53,115,524	50,021,451

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
未払費用	1,340,225	3,837,240
未払法人税等	622,837	67,470
関係会社預り金	4,910,879	4,098,204
引当金	2,931,264	-
その他	1,103,475	1,169,233
流動負債合計	10,908,682	9,172,148
固定負債		
退職給付引当金	8,056,368	7,706,535
その他	175,805	46,468
固定負債合計	8,232,174	7,753,004
負債合計	19,140,857	16,925,152
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,825,881	16,825,881
資本剰余金	14,451,367	14,451,416
利益剰余金	9,471,429	8,570,542
自己株式	5,891,513	5,891,264
株主資本合計	34,857,165	33,956,576
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	551	22,771
土地再評価差額金	883,049	883,049
評価・換算差額等合計	882,498	860,277
純資産合計	33,974,667	33,096,298
負債純資産合計	53,115,524	50,021,451

(4)(要約)四半期個別損益計算書
【第2四半期累計期間】

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	20,097,930	22,698,848
売上原価	18,015,676	18,629,531
売上総利益	2,082,254	4,069,316
販売費及び一般管理費	4,013,952	3,829,879
営業利益又は営業損失()	1,931,698	239,436
営業外収益		
受取利息	7,658	5,858
受取配当金	301,616	44,600
賃貸収入	16,199	13,047
助成金収入	1,732,951	1,251,528
その他	11,795	35,723
営業外収益合計	2,070,220	1,350,757
営業外費用		
支払利息	2,012	1,259
コミットメントフィー	10,450	10,450
その他	16,379	4,554
営業外費用合計	28,842	16,264
経常利益	109,679	1,573,929
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,262	1,188
特別利益合計	1,262	1,188
特別損失		
固定資産除却損	12,776	4,868
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	64,956
子会社整理損	-	3,814
賃貸借契約解約損	2,260	-
特別損失合計	15,036	73,640
税金等調整前四半期純利益	95,905	1,501,477
法人税等	64,355	600,590
四半期純利益	31,550	900,886

(5) 主要経営指標

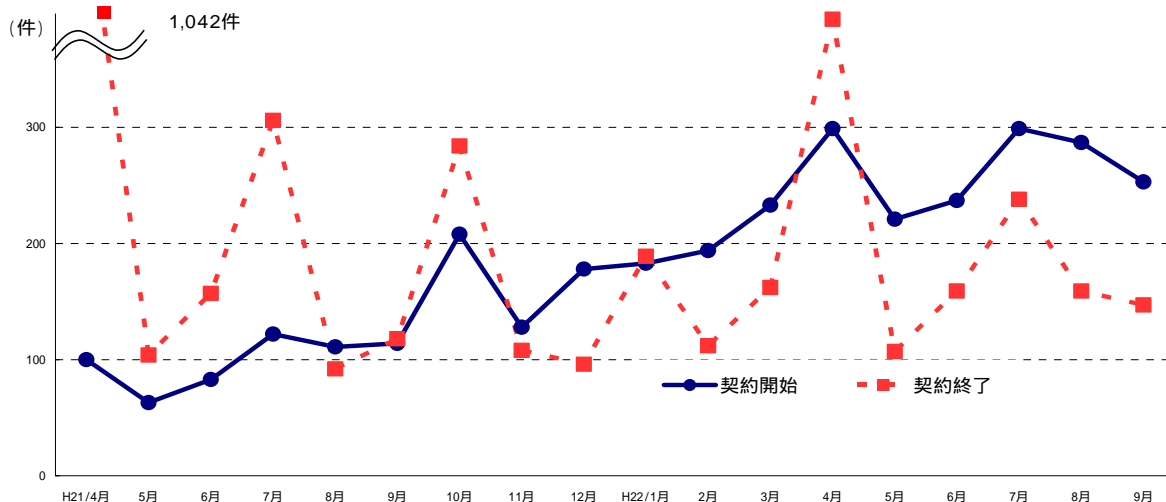
(稼働時間)	平成22年3月期	平成23年3月期	
	第2四半期累計期間	第2四半期累計期間	前年同期比
メイテック	8.40h/day	8.81h/day	+ 0.41h/day
メイテックフィルダーズ	8.48h/day	8.86h/day	+ 0.38h/day

(6) グループ各社単体の実績 (平成23年3月期 第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)		売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
派遣事業	メイテック	22,698	+ 2,600	239	+ 2,171	1,573	+ 1,464	900	+ 869
	メイテックフィルダーズ	3,942	+ 540	254	+ 1,214	389	+ 896	373	+ 1,158
	メイテックキャスト	1,241	+ 70	26	+ 40	28	+ 40	15	+ 23
エンジニアリング事業	メイテックCAE	581	+ 64	87	4	91	0	54	+ 5
	アポロ技研グループ	916	+ 236	37	+ 110	54	+ 84	27	+ 39
	メイテックグローバルソリューションズ *1	48	256	12	+ 274	10	+ 95	11	+ 96
グローバル事業	メイテック上海	12	6	2	+ 1	11	9	11	9
	メイテック広州	1	+ 0	2	+ 10	2	+ 10	2	+ 10
	メイテック西安	5	+ 2	5	+ 8	5	+ 8	5	+ 8
	メイテック成都	3	+ 0	12	+ 6	12	+ 6	12	+ 6
	メイテック上海人才	19	+ 12	2	+ 6	2	+ 6	2	+ 6
サポータ事業	メイテックネクスト	215	+ 42	53	+ 60	55	+ 61	54	+ 61
	all engineer.jp	5	1	0	+ 1	0	+ 1	0	+ 1

*1: 平成22年4月1日付けで、中国人エンジニアの派遣事業を当社へ会社分割により承継したことに伴い、今期よりグローバル事業からエンジニアリングソリューション事業へ事業セグメントを変更しています

(7) 契約実績推移 (メイテック単体)



有事の事業環境下における重要情報の一環として記載しています

(8) 社員還元見込額の追加説明

〔平成22年5月13日公表の平成22年3月期決算短信：平成23年3月期業績予想の注記【抜粋】〕

平成22年2月23日に公表した「経営合理化の取り組みに関するお知らせ」の通り、平成23年3月期におけるメイテックグループの経営方針は、「自立的な企業存続を達成する」といたしました。その経営方針に基づき、メイテックグループの各社が、それぞれの状況に合わせた施策の実施等を前提として、「通期営業黒字の達成（連結・単体・各社）」を平成23年3月期の経営目標といたしました。これら経営目標等を達成するために、下記表の経営合理化施策を労使合意に基づき実施いたします。

(単位：百万円)	費用削減効果見込額（年間）	
	連結	単体
役員報酬の減額・返上、監査役報酬の自主返上	40	40
執行役員・管理職（非組合員）賃金の減額	190	160
一般社員（組合員）の手当・賞与等の減額	2,650	1,650
合計	2,880	1,850

なお、現時点の想定を超えて業績が伸長し、公表予想を上回る売上が確保される場合においても、営業利益が公表予想と同水準に着地する可能性があります。具体的には労使協議等を要する予定ですが、公表予想を上回る売上に伴い発現が見込まれる営業利益の上ブレ部分は、上記表に記載の社員の賞与、賃金等の減額補填等へ優先して充当する予定です。

〔社員還元見込上限額並びに当四半期連結累計期間の社員還元見込額〕

上記の費用削減効果見込額の内、社員への還元見込額を以下のように算定しました。

(単位：百万円)	連結	単体
社員還元見込上限額（通期）	¹ 2,453	^{1,2} 2,149
役員報酬の減額・返上、監査役報酬の自主返上		
執行役員・管理職（非組合員）賃金の減額	¹ 205	¹ 154
うち執行役員賃金の減額		
一般社員（組合員）の手当・賞与等の減額	^{1,2} 2,247	^{1,2,1} 1,995
社員還元見込額（当四半期連結累計期間）	1,225	1,073
売上原価	1,094	964
販管費	130	109

- 1 還元対象者の見直し等を行った為、社員還元見込上限額（通期）を修正しています（修正前の社員還元見込上限額（通期）連結2,390百万円、単体2,134百万円）
- 2 当社単体の「一般社員（組合員）の手当・賞与等の減額」の社員還元見込額は、子会社からの業務委託料の減少影響を除いて設定

注) 社員還元見込額は、上限額までの引当金繰入を確約するものではありません。業績次第では、引当金繰入額が上限に満たない場合があります。一方、上限まで引当金を繰入れた場合は、営業利益を計上します。

なお、社員還元見込額については、今後の労使協議を経て、当期末までの実支給を予定しております。

以上